

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	歴史（ I E, C A）	
科目基礎情報							
科目番号	0018			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：『日本史A 現代からの歴史』東京書籍/副教材：『日本史A ワークノート』東京書籍						
担当教員	和田 善成						
到達目標							
(1)産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 (2)人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。 (3)社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について説明できる。		産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。		産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できない。	
		人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から説明できる。		人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。		人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できない。	
		社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて説明できる。		社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。		社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2							
教育方法等							
概要		国際化が進む中で、自国の歴史や文化を習得する必要性が高まっている。これからの国際社会で生きていく上で必要な教養として、日本の歴史について講義する。					
授業の進め方・方法		予習として教科書を事前に読んでおくこと。授業中はたくさん板書するので、自分で毎回きちんとノートを取ること。復習として『ワークノート』やプリントをしておくこと。課題の提出を求められた場合は、期日までに必ず提出すること。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			日本の地理・日本史の時代区分	
		2週	国際環境の変化と明治維新			19世紀の日本	
		3週	国際環境の変化と明治維新			開国と倒幕	
		4週	国際環境の変化と明治維新			明治新政府の諸改革と社会の変化	
		5週	国際環境の変化と明治維新			明治初期の外交と反政府運動	
		6週	近代国家の成立と国際関係の推移			自由民権運動の展開	
		7週	近代国家の成立と国際関係の推移			立憲体制の成立	
		8週	近代国家の成立と国際関係の推移			日清戦争と国際関係	
	2ndQ	9週	中間試験			上記の内容から出題する	
		10週	前期中間試験の解答・解説			試験の解答と解説	
		11週	近代国家の成立と国際関係の推移			日露戦争前後の世界と日本	
		12週	近代国家の成立と国際関係の推移			日露戦争前後の世界と日本	
		13週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			帝国日本と第一次世界大戦	
		14週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			帝国日本と第一次世界大戦	
		15週	期末試験			10回～14回の内容から出題する	
		16週	答案返却など			試験の解答と解説	
後期	3rdQ	1週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			政党政治と大衆文化	
		2週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			政党政治と大衆文化	
		3週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			軍国日本への通	
		4週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			軍国日本への通	
		5週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			太平洋戦争と日本	
		6週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			太平洋戦争と日本	
		7週	現代世界と日本			現代世界の開幕と日本の戦後改革	
		8週	中間試験			後期1回～7回の内容から出題する	
	4thQ	9週	後期中間試験の解答・解説			試験の解答と解説	
		10週	現代世界と日本			日本の再建と復興への通	
		11週	現代世界と日本			米ソ二極化構造の世界と国内の再編	
		12週	現代世界と日本			高度経済成長の時代	
		13週	現代世界と日本			低成長から経済大国へ	

		14週	現代世界と日本		冷戦の終焉と日本		
		15週	期末試験		後期9回～14回の内容から出題する		
		16週	答案返却など		試験の解答と解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	1	前1	
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。	1	前1	
				社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	前1	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0